

アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発
(中間評価)

質問

回答

C委員	どういった形で普及を考えているのですか？	個別にあたって、今までの研究結果や試作装置について説明を行っています。
	装置はどこで作って供給するのですか？	これまでは共同研究で行っていました。今後は、導入したい企業があれば、そこで検討を予定しようと考えています。
F委員	SQUID顕微鏡に興味を持っている県外企業について検討中と書いていますが、特許を売って県外企業が装置を作成するということと理解して良いのでしょうか？	顕微鏡の有効性について評価中です。特許に抵触する部分を使わなければならないならば、特許として利用してもらおうと考えています。
B委員	従来の検査装置との違い、特徴がないと受け入れられないと思いますので、差別化がほしいと思います。	
	マイクロ波は通常の部屋でも測定できるのですか？	ノイズ等の影響、測定レベルについて評価中です。
	イクラなどの測定に利用も検討しているようですが、対象物や測定環境条件を選ばないのですか？	対象物は同条件下でないと測定できません。環境は検査部分のみ条件を整えればよいので問題はありません。
E委員	測定対象物がランダムな物は測定が難しいようですが、そのような物の測定ニーズに答えられないと思うのですが。	サンプルについていろいろ試したのですが、測定はどうしても難しいです。
D委員	もともと食品の測定を対象にしたものなのですか？	当初の目標は食品測定でした。それだけでなく、コンクリートの水分測定にも応用しています。
F委員	今年度分のテーマについて、人員 1人で対応可能だったのですか？	昨年度までが研究、今年度は普及でありますので、1人でも問題ありません。